

カーボンフットプリント制度試行事業CO₂換算量共通原単位データベースver. 4.0 (国内データ)

「カーボンフットプリント制度試行事業CO₂換算量原単位データベースver. 4」(以下「本データベース」という。)を公開します。
本データベースは、独立行政法人産業技術総合研究所の監修の下に統計や文献・資料等を基に作成されたデータ及び工業会より提出されたデータから構成されています。また、第三者の有識者からなるCO₂換算量原単位データ検証委員会(委員長 石谷久 東大名誉教授)において、「原単位作成用検証基準」に基づいた検証を受けております。

＜「本データベース」を使用する際の注意事項＞

1. 本データベースに掲載されているデータは、カーボンフットプリント制度試行事業のみにおいて、使用することが出来るデータベースです。
2. 本データベースに掲載されているデータは、ある一定の条件下での算定結果を示したものであるため、本数値のみによる素材間比較などはできません。
3. 本データベースに掲載されているデータは、データ作成時の最新の知見に基づいて作成されているため、データ作成に用いたバックグラウンドデータは各検証期の間で整合性が取れていない箇所があります。
4. 本データベースは、更なる充実に向け、随時検討されます。

データベース項目名の説明

kg-CO₂e : 温室効果ガス(GHG)である6ガス(二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素など)の排出量を二酸化炭素に換算し合計した数値の単位

「製品」:ここに含まれる原単位はその製品を作るまでの工程における温室効果ガス排出量を示す。

「エネルギー」:ここに含まれる原単位はその製品を作るまでの工程に加えてそれを利用した際の温室効果ガス排出量も含めた数値を示す。

(例えば、製品の「灯油」は灯油を作るまでの数値が、エネルギーの「灯油のボイラーでの燃焼」は灯油を作るまでと、灯油を燃やしたときの数値が合算されている。)

指数表記: E+02は10の2乗、E-02は10のマイナス2乗を示す。

原単位の範囲: 製造プロセスからの産業廃棄物処理は含むが、製品そのものの廃棄処理は含まない。

※公共電力の二次データは、原則として本共通原単位データベースの値を使用している。

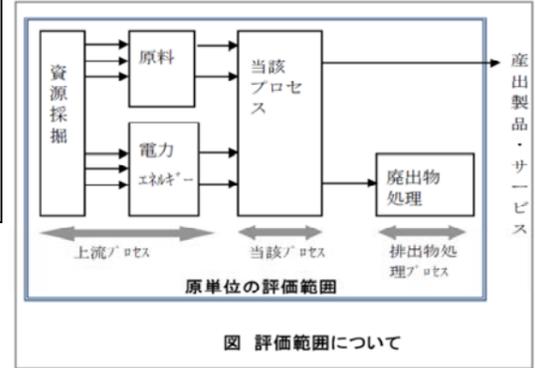


図 評価範囲について

公開用整理番号	種類	分類	名称	単位	GHG排出量[kg-CO ₂ e/単]	情報源(当該製品・サービスを産出するプロセス)	原単位の範囲	補記	検証期	【旧ver.3】公開用整理番号	【旧ver.2】公開用整理番号
JP312012	製品	プラスチック製品	再生ポリエチレン樹脂(ペレット)、産業廃棄物由来	kg	3.88E-01	日本プラスチック有効利用組合 全日本プラスチックリサイクル工業会「再生ポリエチレン樹脂(ペレット)カーボンフットプリント原単位算出に関する報告書」(2011.06)	リサイクル準備段階処理後の産業廃棄物由来の原材料→粉砕→洗浄→乾燥・脱水→混合→混練・造粒	【工業会提供データ】原料は産業廃棄物 由来であり、一般廃棄物は含まない。洗浄工程は不要な場合は含まれていない。	H23年度第1期	-	-
JP312013	製品	プラスチック製品	再生ポリプロピレン樹脂(ペレット)、産業廃棄物由来	kg	3.39E-01	日本プラスチック有効利用組合 全日本プラスチックリサイクル工業会「再生ポリプロピレン樹脂(ペレット)カーボンフットプリント原単位算出に関する報告書」(2011.06)	リサイクル準備段階 処理後の原材料→粉砕→洗浄→乾燥・脱水→混合→混練・造粒	【工業会提供データ】原料は産業廃棄物 由来であり、一般廃棄物は含まない。洗浄工程は不要な場合は含まれていない。	H23年度第1期	-	-